

平成 24 年度 (2012 年度) 冬学期
天体輻射論 I / 恒星物理学特論 IV 期末レポート課題

担当：小林尚人 naoto@ioa.s.u-tokyo.ac.jp

講義では、紫外線・可視光・赤外線における主な天体輻射過程が、幾つかの応用例とともに紹介された。以下の 2 つの課題から 1 つを選び、A4 レポート用紙にまとめよ（枚数は問わない）。

【課題 A】 自分が現在進めている（もしくは進めようとしている）研究テーマについて、今回学んだ天体輻射過程や関連した物理を用いて何か新しい知見が得られないか、自由に考察して記述せよ（新しい知見に対する言及を必ず含めること）。

【課題 B】 直感的に最も興味を持った天体輻射過程、もしくは講義中に疑問に思いどうしても気になった項目があれば、それについて文献等で詳細を調べ、納得するまで考察し、その内容を記述せよ。

期末レポートの評価について

- どれだけ深く考えているか、ないし、どれだけよく調べているかを判断して評価する。計算や式変形などの細かい間違いは問わないが、記述が論理的か・わかりやすいかは評価判断材料とする。図表を活用するのが好ましい。
- 講義中の小課題レポートを 5 回以上提出したものは、そちらが優先されるので期末レポートを提出する必要はない（小課題レポートの提出回数が 5 回に満たないものは、足りない回数以上分の課題レポートを提出することで期末レポートに変えても良い）。
- 学部生（天体輻射論 I）は基本的に小課題レポートで評価する。期末レポートのみでも評価をするが、小課題を出している学部生とは評価に差がつく可能性がある。
- 修了者で単位取得を早急に確認したい人は、別途小林まで連絡をするように。
- レポートは基本的に返却しないが、希望するものにはコメントをつけて返却するので、返却希望の旨をレポートに書いておくこと（天文教室事務を通じて返却する）。

注意事項

- （1）冒頭に、A・B どちらの課題を選択したかを明記し、続けてタイトルとアブストラクト（要約）を必ずつけること。なお記述は片面とし、ページ番号を必ずうっておくこと。また、ホッチキスではなくクリップ等はずしやすいくものとめておくこと。
- （2）使用した参考書があれば、書名を書いておくこと。また議論した友人がいれば、その友人の名前をあげ感謝の意を表すること。
- （3）レポートには忘れずに学生証番号、氏名を記入すること。

提出先

天文教室事務 石川さんまで

提出締め切り

修了生：2013/2/8(金)、その他：2013/3/1(金)